

清掃業務作業手順書

1 日常清掃

ア 一般区域(清浄度クラスⅣ)

① 長尺塩ビシート、リノリウム床の部屋の清掃手順

- ・衛生的手洗いをを行う。
 - ※ 衛生的手洗いとは、感染の予防策として行う手洗いで、流水、薬用石鹸又は消毒薬を使用して手・指・手首を洗うことであり、消毒用アルコールの使用は洗浄後の手指消毒用として有効である。
 - なお、薬剤費用は受注者負担とする。(以下同定義とする)
- ・保護手袋を必要に応じて着用する。
- ・清掃用具と消耗補充品を用意する。
- ・室内にいる患者等に清掃作業のために入出する旨を丁寧に伝え、了解を得る。不在の場合は、原則、清掃を実施しないものとする。ただし、看護師による事前の承認を得ている場合においては、当該清掃業務を実施できるものとする。
- ・フラワークリーン等で通気口(エアコン等含む)、什器備品の上部、天井の隅等の高所の埃を定期的に除去する。
- ・ゴミ箱からゴミを回収する。容器の汚れは、定期的に除菌洗浄剤で除去する。
- ・床面を除塵性能の優れたモップを用いて塵埃を取り除く。ベッドの下など目の届きにくい場所も忘れることなく、部屋の隅々まで丁寧に塵埃を取り除く。
- ・除菌洗浄剤等に浸したモップで、部屋の奥から拭き上げる。
- ・低所壁面について汚染があれば、タオル等で取り除く。
- ・室内にトイレ、シャワー、シンク等が設置してある部屋は、(イ) 汚染拡散防止区域(清浄度クラスⅤ)の作業を行う。
- ・除菌洗浄剤等で、スイッチ、ドアの取手、手摺り、窓枠等を清拭する。
- ・作業終了の点検を行う。
- ・室内にいる患者等に清掃が終了した旨を丁寧に伝え、退室する。

② 特記事項

- ・除菌剤は、低度から中等度(例：アンモニウム塩、フェノール系)のものを使用すること。
- ・ゴミの分別は、病院指定の方法に従い、感染性の廃棄物と一般ゴミとは区別すること。
- ・退院後の清掃は、床面・壁面のほか、床頭台等の備品についても除菌・消毒清掃とすること。ベッドメイクは業務対象外とする。
- ・別表 1－1「清掃作業基準表」に定める回数を最低限実施すること。
- ・ドアの取手など直接手の触れる部分については、清拭により除菌・消毒を行うこと。
- ・鏡、洗面台(流し台)、付属品の清掃をすること。
- ・窓の枠は常時清掃し、埃を除去すること。
- ・ドア、壁等は汚れに応じて洗剤を用いて清掃する。

- ・日常清掃で除去できない汚れがあった場合や、部署の都合で清掃が行えなかった場合は業務責任者に報告する。業務責任者は清掃方法の検討や時間調整を行う。

イ 汚染拡散防止区域(清浄度クラスⅤ)

① 長尺塩ビシート床、浴室等の清掃手順

- ・衛生的手洗いをを行う。
- ・専用保護手袋を着用する。
- ※ 一般区域と同仕様の手袋を使用しても構わないが、一般区域と使い分けること。
- ・清掃用具と消耗補充品を用意する。
- ・最初にトイレ・浴室・シャワールーム等が使用中でないことを確認し、フロアサインで清掃することを知らせる。
- ・ごみ箱及び汚物入れからごみを回収し、新しいごみ袋を取り付ける。容器の汚れは定期的に除菌洗浄剤で除去する。
- ・フラワークリーン等で通気口(エアコン等含む)、什器備品の上部、天井の隅等の高所の埃を定期的に除去する。
- ・ダストクロスまたはモップで、床面の塵埃を除去する。
- ・トイレは除菌洗浄剤等を便器の内側と外側にスプレーし、ブラシまたはパッドで洗浄し、専用タオルで清拭する。
- ・浴室・シャワールーム等は、除菌洗浄剤等を使用し、浴槽、シャワー、シンク、洗面台、パイプ、シャワーチェアー等を洗浄、清拭する。鏡とステンレス部分は、ガラスクリーナー等で磨く。
- ・床面を除菌洗浄剤等に浸したモップで隅や機器の下部まで丁寧に拭き上げる。
- ・低所壁面について汚染があればタオル等で取り除く。
- ・消耗品(トイレトペーパー、水石鹸等)を点検、補充する。消耗品の負担区分は共通仕様書に従って負担し、在庫・発注管理は受注者が行う。
- ・室内を点検し、臭い・汚れ・埃等がないことを確認する。
- ・フロアサインを片付ける。

② 特記事項

- ・除菌剤は、中等度から高度のもの(例：次亜塩素酸塩、アルデヒド系)を使用すること。
- ・別表 1－1「清掃作業基準表」に定める回数を最低限実施すること。
- ・清掃状況に問題点を発見した場合、作業のやり直しを行う。
- ・日常清掃で除去できない汚れがあった場合や、部署の都合で清掃が行えなかった場合は業務責任者に報告する。業務責任者は清掃方法の検討や時間調整を行う。

ウ その他の一般区域(清浄度クラスⅣ)

① 長尺塩ビシート、リノリウム床の部屋の清掃手順

- ・清掃用具を用意する。
- ・衛生的手洗いをを行う。

- ・保護手袋を必要に応じて着用する。
- ・ごみ箱からごみを回収する。容器の汚れは定期的に除菌洗浄剤で除去する。
- ・床面を真空掃除機、ダストクロス又はモップを用いて塵埃を取り除く。ベッドの下など目の届きにくい場所も忘れることなく、部屋の隅々まで丁寧に塵埃を取り除く。
- ・除菌洗浄剤等を入れた自動床洗浄床機や除菌洗浄剤に浸したモップで、床面の拭き作業を行う。
- ・低所壁面について汚染があればタオル等で取り除く。
- ・手摺りは除菌洗浄剤で清拭する。
- ・作業終了の点検を行う。

② カーペット・タイル床の清掃手順

- ・HEPAフィルター付真空掃除機を用いて塵埃を取り除く。
- ・噴霧器を使ってカーペット専用シミ取り剤でシミ等の汚れを除去する。
- ・血液、体液等によって汚染された場所は、カーペット専用除菌洗浄剤等を用いて洗浄する。
- ・作業終了後の点検を行う。

③ エレベーター、エスカレーターの清掃

- ・早朝の利用者の少ない時間帯に清掃する。また、汚れの通報があった場合は速やかに清掃を行うこと。
- ・床面清掃のうち汚れのひどいときはエレベーター業者と協議し、エレベーター定期点検前に打合せ後、点検日に床清掃を実施すること。
- ・エレベータードアのレール溝、エスカレーター溝の詰まりは故障の原因となるので、注意すること。
- ・手摺は除菌洗浄剤で清拭する。
- ・ステンレス部分、ガラス表面に曇りがないように仕上げる。

④ ホール、ラウンジ、待合スペース、廊下の清掃

前項①の清掃に加え、以下の作業を行う。

- ・濡れたり、汚れている箇所は、モップで拭き清掃する。
- ・椅子を拭き清掃する。
- ・冷水器の水飲み場を磨く
- ・自動再来機を拭き清掃する。
- ・椅子・塵芥容器等移動できるものは移動し清掃する。
- ・受付台を除菌洗浄剤で清拭する。
- ・廊下の手摺りを除菌洗浄剤で清拭する。
- ・窓ガラス等の枠を拭き清掃する。

エ 清潔区域（清浄度クラスⅠ・Ⅱ）

① 長尺塩ビシート、リノリウム床の部屋の清掃手順

- ・衛生的手洗いをを行う。
- ・保護手袋を着用する。
- ・清掃用具と消耗補充品を用意する。
- ・室内にいる職員、患者等に清掃作業のために入出する旨を丁寧に伝え、了解を得る。必要に応じてフロアサインを置く。

- ・フラワークリーン等で通気口(エアコン等含む)、什器備品の上部、天井の隅等の高所の埃を定期的に除去する。
- ・ごみ箱からごみを回収する。容器の汚れは定期的に除菌洗浄剤で除去する。
- ・床面を除塵性能の優れたモップを用いて塵埃を取り除く。ベッドの下など目の届きにくい場所も忘れることなく、部屋の隅々まで丁寧に塵埃を取り除く。
- ・除菌洗浄剤等に浸したモップで、部屋の奥から拭き上げる。
- ・除菌洗浄剤等で、スイッチ、ドアの取っ手、手摺り、窓枠等を清拭する。
- ・作業終了の点検を行う。
- ・室内にいる職員、患者等に清掃が終了した旨を丁寧に伝え退室する。また、フロアサインを片付ける。

② 特記事項

- ・除菌剤は、低度から中等度(例：アンモニウム塩、フェノール系)のものを使用すること。
- ・ゴミの分別は、病院指定の方法に従い、感染性の廃棄物と一般ゴミを区別すること。
- ・退院後の清掃は、床面・壁面のほか、床頭台等の備品についても除菌・消毒清掃すること。
- ・別表１－１「清掃作業基準表」に定める回数を最低限実施すること。
- ・日常清掃で除去できない汚れがあった場合や、部署の都合で清掃が行えなかった場合は業務責任者に報告する。業務責任者は清掃方法の検討や時間調整を行う。

２ 定期清掃

ア 床材別定期清掃作業

① 長尺塩ビシート、リノリウム床

- ・清掃用具を用意する。
- ・衛生的手洗いをを行う。
- ・関係部署に作業開始の旨を伝え、了解を得たうえでフロアサインを置き、作業中であることを知らせる。必要に応じて警告テープを張る。
- ・必要に応じて、什器備品等を移動する。医療機器等で従事者が移動できない場合は、部署職員に声をかけ移動を依頼する。
- ・ダストクロス、自在ほうき、真空掃除機等で、床面の塵埃を隅々まで丁寧に除去する。
- ・表面洗浄剤を塗布する。
- ・自動床洗浄機あるいはポリッシャーにブラシまたはパットを装着して洗浄する。
- ・吸水バキューム等で汚水を除去する。
- ・モップで水拭きを行い、送風機で乾かす。
- ・自動洗浄機やバフマシンを使用できるエリアは、ドライ専用樹脂ワックスを塗布し、乾燥させる。それ以外のエリアは、耐久性を重視した樹脂ワックスを塗布し、乾燥させる。
なお、床の材質に合わせた適切なワックスがけを行うこと。
- ・作業終了後、什器備品を所定の位置に戻し、点検した後、後片付けをする。
- ・関係部署に作業終了の旨を伝える。

② 石材

- ・清掃用具を用意する。

- ・衛生的な手洗いをを行う。
- ・関係部署に作業開始の旨を伝え、了解を得たうえでフロアサインを置き、作業中であることを知らせる。必要に応じて警告テープを張る。
- ・必要に応じて、什器備品等を移動する。医療機器等で従事者が移動できない場合は、部署職員に声をかけ移動を依頼する。
- ・H E P Aフィルター付真空掃除機で、床面の塵埃を隅々まで丁寧に除去する。
- ・石材専用の床材洗浄剤を塗布する。
- ・ポリッシャーにブラシまたはパットを装着して洗浄する。
- ・吸水バキューム等で汚水を除去する。
- ・モップで水拭きを行い、送風機で乾かす。
- ・作業終了後、什器備品を所定の位置に戻し、点検した後、後片付けをする。
- ・関係部署に作業終了の旨を伝える。

③ カーペット

- ・清掃用具を用意する。
- ・衛生的な手洗いをを行う。
- ・関係部署に作業開始の旨を伝え、了解を得たうえでフロアサインを置き、作業中であることを知らせる。
- ・必要に応じて、什器備品等を移動する。医療機器等で従事者が移動できない場合は、部署職員に声をかけ移動を依頼する。
- ・アップライト掃除機または真空掃除機で、床面の塵埃を除去する。
- ・除菌洗浄剤等で前処理をする。
- ・エクストラクター・ヤーンパット、専用ブラシ等で洗浄する。
- ・作業終了後、什器備品を所定の位置に戻し、点検した後、後片付けをする。
- ・関係部署に作業終了の旨を伝える。

④ 木材

- ・清掃用具を用意する。
- ・衛生的な手洗いをを行う。
- ・関係部署に作業開始の旨を伝え、了解を得たうえでフロアサインを置き、作業中であることを知らせる。必要に応じて警告テープを張る。
- ・必要に応じて、什器備品等を移動する。医療機器等で従事者が移動できない場合は、部署職員に声をかけ移動を依頼する。
- ・H E P Aフィルター付真空掃除機またはダストクロス等で、床面の塵埃を除去する。
- ・専用の床材洗浄剤を塗布する。
- ・ポリッシャーにブラシまたはパットを装着して洗浄する。
- ・吸水バキューム等で汚水を除去する。
- ・モップで水拭きを行い、送風機で乾かす。
- ・専用ワックスを塗布し、乾燥させる。
- ・作業終了後、什器備品を所定の位置に戻し、点検した後、後片付けをする。

- ・関係部署に作業終了の旨を伝える。

イ ガラス清掃

① 作業手順

- ・ガラス専用除菌洗浄剤等を塗布する。
- ・ガラススクイジーで汚れを除去する。
- ・窓枠下部の水分をタオルで拭きとる。

② 特記事項

- ・ガラス清掃時、状況に応じ専用クリーナー等を用い、汚れ取りを行う。
- ・フィルム貼付窓ガラスについては、スクイジーや柔らかい布等で強く擦らないよう水洗いし（乾拭き厳禁）、汚れがひどい場合は中性洗剤を使用すること。ブラシや研磨剤等は、フィルムを傷つけるため使用しないこと。

ウ 高所天井、壁面等清掃

- ① 掃除機の使用を基本とするが状況に応じて、乾拭き・水拭き・クリーナー使用等にて清掃する。
- ② 玄関風除室上部、ホール側高所窓ガラス等は汚れの状況に応じて実施する。この際転落災害の無いよう十分な安全養生を行うこと。
- ③ 病室の天井、壁面清掃は、床面清掃を行う前に行うこと。

エ ベランダ、軒下及びピロティ、屋外出入口等

床（タイル、コンクリート等）、手摺りは、鳥の糞・埃・土砂・落葉・クモの巣等で見苦しい状態にならないよう適宜清掃する。また、天井面等の汚れを適宜清掃する。

オ 光庭、モニュメント及びデッキ

- ① 1階光庭（精神科外来、成人精神病棟）、3階モニュメントは汚れに応じて清掃する。この時窓ガラス・栈等が汚れていたら清掃する。
- ② デッキは年1回清掃する。

3 塵芥収集運搬及び地下塵芥庫等の維持管理

- （ア）収集運搬する際は、ごみ箱及び周辺の手入れを行い、飛散・流出することがないように注意する。また、必要に応じて消毒剤を含む溶液で拭いて消毒クリーニングを行う。
- （イ）収集した一般・産業・感染性医療廃棄物は所定の場所まで運搬し、それぞれの種別ごとに分別・集積する。集積場所は清掃の上、整理整頓する。
- （ウ）ごみの集積場所は、常時保管状況を確認し、発注者が別途委託した回収運搬業者に引き渡しをする。なお、その際立会いを行うものとし、時間は発注者との協議による。
- （エ）注射針、感染性廃棄物、医療用ガラス瓶等の回収は、受注者の責任において十分な研修を受けた特定の作業員が専用容器で回収し、事故のないよう注意すること。
- （オ）一般ごみの中に感染性廃棄物が混入していることを想定して一般ごみを取り扱い、混入している

のを発見した場合は直ちに看護師長又は監督員に報告すること。

(カ) 感染性医療廃棄物は、専用カートを使用して収集・運搬すること。専用カートは、受注者が用意するが、専用カートの仕様の指定はない。

(キ) 塵芥圧縮機の運転を実施し、適宜清掃を行う。

(ク) ごみ回収車によるごみの搬出後、排出口・圧縮機周囲・側溝等の清掃を行い常に清潔な状態を保つこと。

(ケ) 共用部のごみ箱より収集後、ごみ箱を清潔に維持し蓋を開放のままにしないよう注意すること。

留意事項

(ア) 実務経験豊富な業務責任者を配置し、工程管理・品質管理・安全管理等を徹底すること。

(イ) 従事者は、院内では常に清潔な服装に名札を着用し、退出時には脱ぐこと。

(ウ) 更衣室は、指定された場所を使用すること。

(エ) ゴミ及び用具の運搬は、指定された経路及びエレベーターを使用すること。

(オ) 清掃時間については、発注者と調整した時間とするが、原則として8時～17時とする。

(カ) 病院の行うバクテリアサンプリングの結果にて消毒を行い、清掃方法の変更を行う時は、病院の監督員と調整すること。

(キ) 日常清掃の他に定期清掃計画表を提出し、実施すること。

(ク) 休日の清掃は、使用区分によって清掃方法を分けることとするが、ICU、HCUは平日清掃とし、その他使用しない場所については、原則、行わないものとする。

(ケ) 作業日誌により、毎日清掃の結果を監督員に報告すること。

(コ) 従事者の教育を実施し、技術の向上を図ること。